

4. 冷房育苗、摘心及び電照によるブルーレースフラワーの開花調節（技術）

[要約]

ブルーレースフラワーの7月播種・冷房育苗作型では、慣行育苗より開花が早まって12月上旬になる。また、電照によって開花が早まって11月中下旬に、摘心によって遅れて12月下旬になる。

研究室名	野菜・花研究室	連絡先	0869-55-0277
------	---------	-----	--------------

[背景・ねらい]

ブルーレースフラワーの11～12月出荷技術は未確立である。そこで、11～12月出荷に有望と思われる7月播種・冷房育苗作型における摘心及び電照の効果を検討する。

[成果の内容・特徴]

1. 7月播種・冷房育苗作型では、慣行育苗より開花が約2か月早まり、12月上旬になった。冷房育苗によって切り花長が短くなり、出荷に適した長さ（100cm程度）になった。冷房育苗によって切り花重が軽くなったが、出荷に適した切花重（100g程度）より著しく重かった（表1）。
2. 7月播種・冷房育苗作型では、電照によって開花が早まって11月中下旬になった。開花の揃いはよくなった。電照によって切り花重は軽くなり、暗期中断によって出荷に適した重さになった（表2）。
3. 7月播種・冷房育苗作型では、摘心によって開花が遅れて12月下旬になった。開花の揃いはよくなった。摘心によって切り花重は軽くなったが、出荷するには必要以上に重かった（表3）。

以上の結果、ブルーレースフラワーの7月播種・冷房育苗作型では、慣行育苗より開花が早まって12月上旬になる。また、電照によって開花が早まって11月中下旬に、摘心によって遅れて12月下旬になる。

[成果の活用面・留意点]

1. 7月播種作型では切り花重が重くなりやすいので、栽植密度を高めるなどの対策が必要である。
2. 7月播種・冷房育苗作型では、明期延長すると切り花が若干軟らかくなる。このため、電照方法としては暗期中断が適する。

[具体的データ]

表1 冷房育苗の有無とブルーレースフラワーの開花日及び切り花品質

冷房育苗の有無	電照方法	摘心の有無	平均開花日 (月日)	同左標準偏差 (日)	切り花長 (cm)	茎長 (cm)	節数	側枝数	切り花重 (g)	茎径 (cm)	下垂度 (°)
有	無電照	無	12月4日	24	105	61	31	15	195	6.9	8
無	〃	〃	2月2日	22	162	108	46	14	270	8.5	5

注) 冷房育苗は、播種時(7月19日)から定植時(8月23日)まで、15℃に設定したミニビニルハウス内で行った。

表2 電照方法とブルーレースフラワーの開花日及び切り花品質

冷房育苗の有無	電照方法	摘心の有無	平均開花日 (月日)	同左標準偏差 (日)	切り花長 (cm)	茎長 (cm)	節数	側枝数	切り花重 (g)	茎径 (cm)	下垂度 (°)
有	暗期中断	無	11月21日	10	100	63	32	14	113	5.8	12
〃	明期延長	〃	11月18日	10	95	52	29	15	149	5.6	17
〃	無電照	〃	12月4日	24	105	61	31	15	195	6.9	8

注) 暗期中断は深夜4時間、明期延長は16時間日長とし、定植20日後(9月12日)から行った。

表3 摘心の有無とブルーレースフラワーの開花日及び切り花品質

冷房育苗の有無	電照方法	摘心の有無	平均開花日 (月日)	同左標準偏差 (日)	切り花長 (cm)	茎長 (cm)	節数	側枝数	切り花重 (g)	茎径 (cm)	下垂度 (°)
有	無電照	有	12月23日	13	96	43	15	8	134	8.0	4
〃	〃	無	12月4日	24	105	61	31	15	195	6.9	8

注) 摘心は、定植15日後(9月7日)に、未展開葉部分を切除して行った。

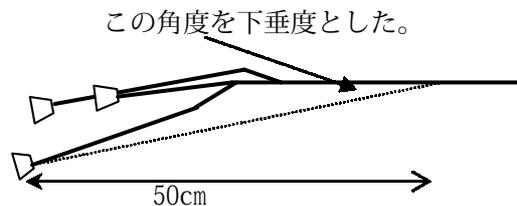


図1 ブルーレースフラワーの下垂度

[その他]

試験研究課題・事業名：大市場向け新品目花きの探索と長期生産技術の確立

予算区分：県単

研究期間：平成10～12年度

関連情報等：平成12年度試験研究主要成果：ブルーレースフラワーの摘心栽培